

日本国国際JLPT－日本語能力試験語彙リスト
(Powered by jlpt.info, copyright reserved 2007)

VOCABULARY TEST FORM				
いい加減 ひながな: いいかげん 用例: 「いいかげんにしなさい」と、母親は子どもを叱った(しかった)。彼はいいかげんな男だ。	身の回り ひながな: みのまわり 用例: 「火事だ!」という声に、身の回りの物だけ持って逃げた。	果ない ひながな: はかない 用例: 10歳の果かない一生を終えた(おえた)。	とかく ひながな: とかく 用例: 12月はとかく(さまざまな物事を漠然とさす、ある状態になりやすいさま)忙しくて、落ち着かない。	換算 ひながな: かんさん 用例: 1インチはセンチメートルに換算すると、約2.54センチメートルになる。
疎か ひながな: おろそか 用例: 1円でもおろそか(言うまでもないことである。もちろん)にしてはいけな。	片言 ひながな: かたこと 用例: 1歳半の娘は、片言だが話をするようになった。	下火 ひながな: したび 用例: 1時間の消火活動で、火はようやく下火になった。	～難い ひながな: かしい 用例: 2年前の火災は、私にとって忘れ難い出来事です。	見なす ひながな: みなす 用例: 30分以上の遅刻は欠席(けっせき)と見做す(仮にそうと見る。そうでないものをそうとする。仮定する)。
待ち遠しい ひながな: まちどおしい 用例: 7月になると、夏休みが待ち遠しい(待っていてもなかなか来ず、早く来るようにと願っているさま)。	きっかり ひながな: きっかり 用例: 8人できっかり(時間・数量などが正確で過不足のないさま)8等分した。	ずばり ひながな: ずばり 用例: あいまいな意見が多い中で、彼だけがずばり(刀などで勢いよく切るさまと)答えを出した。	言い訳 ひながな: いいわけ 用例: あなたが言っていることは、言い訳にもならない。	極めて ひながな: きわめて 用例: あなたには、努力を続けて、学問の道を極めて欲しい。極めて重大な問題だ。
敢えて ひながな: えて 用例: あなたの将来のために、敢えて忠告します。	甚だ ひながな: はなはだ 用例: あのチームが負けたのは、甚だ残念だ。	がっちり ひながな: がっちり 用例: あのチームはがっちり(引き締まっていて丈夫そうなさま。頑丈なさま)とスクラムを組んで、最後まで戦った。	健やか ひながな: すこやか 用例: あの家の子どもたちは、皆健やかに育っている。身も心も健やかでやりたい。	危機 ひながな: きき 用例: あの芸能人同士のカップルは、しょっちゅう離婚の危機を噂されている。
心細い ひながな: こころぼそい 用例: あの山に登るのに、この装備では心細い。	忠告 ひながな: ちゅうこく 用例: あの時、君の忠告がなければ、今頃私はどうなっていたか判らない(わからない)。	驚異 ひながな: きょうい 用例: あの人が合格するなんて、驚異だ。	強烈 ひながな: きょうれつ 用例: あの人の強烈な個性は、彼の服装に表われている。	辟易 ひながな: へきえき 用例: あの人の自慢話にはへきえきする(ひどく迷惑して、うんざりすること。嫌気がさすこと。閉口すること)。
極端 ひながな: きょくたん 用例: あの人の発言は、いつでも極端だ。	淑やか ひながな: しとやか 用例: あの人の歩き(あるき)方は、淑やかで上品だ。	絡む ひながな: からむ 用例: あの人は、お酒を飲むと、すぐに人に絡む(物に巻きつく。理屈をこねたり、無理を言ったりして相手を困らせる)から気を付けたほうがいい。	然程 ひながな: さほど 用例: 原作とさほど変わりありません!!	起伏 ひながな: きふく 用例: あの人は、山あり谷ありの、起伏(きふく)の多い一生を送った。
心強い ひながな: こころづよい 用例: あの人は、私たちにとって心強い味方(みかた)だ。	称する ひながな: しょうする 用例: あの人は、自分を完ペキ主義者と称している。	賢明 ひながな: けんめい 用例: あの人は賢明な人なので、考えを一度聞いてみた方がよい。	雑 ひながな: ざつ 用例: あの人は雑な性格なので、よく小さな失敗をする。	築く ひながな: きずく 用例: あの人は自分の力だけで、現在の地位を築き上げた。
生真面目 ひながな: きまじめ 用例: あの人は生真面目(まじめすぎて融通がきかないこと、また、そのさま)すぎて、ときどき損をしている。	頑丈 ひながな: がんじょう 用例: あの人は体が頑丈で、一度も病気になることがない。	素早い ひながな: すばやい 用例: あの選手の攻撃はとても素早い。	脅かす ひながな: おびやかす 用例: あの選手も、新人選手に、レギュラーの座を脅かされている。	仕上げ ひながな: しあげ 用例: あの大工さんの仕上げは、いつもきれいだ。
余程 ひながな: よほど 用例: あの大人しい彼が怒る(おこる)なんて、よほど(かなり、可成り)のことがあったに違いない。	あくどい ひながな: あくどい 用例: あの男のあくどい(程度を超えてどぎついやり方)に泣かされた人も多い。	気障 ひながな: きざ 用例: あの男の紳士打った気障な(服装や言動などが気どっていて嫌な感じをもたせること。また、そのさま)振舞いは、みんなに嫌われている。	ずらっと ひながな: ずらっと 用例: あの店には、新商品がずらっと(人や物がたくさん並び連なっているさま。ずらり)並んでいる。	似通う ひながな: にかよう 用例: あの二人は、姉妹(しまい)のように顔が似通っている。
融通 ひながな: ゆうずう 用例: アパートを借りるのにお金が必要なので、親に融通してもらった。	憐った ひながな: にくすぐった 用例: あまりにも大げさに褒められて、何だか憐ったかった(皮膚の敏感な部分を軽く刺激し、むずむずして笑いたくなるような感じを起こさせる)。	把握 ひながな: はあく 用例: あまりに突然だったので、事態を把握するのに時間がかかった。	歪む ひながな: ゆがむ 用例: あまりの痛みに、彼の顔が歪んだ(ゆがんだ)。	差し支える ひながな: さしつかえる 用例: あまり親しくなりすぎると、仕事に差し支える。
ずるずる ひながな: ずるずる 用例: あやふやな態度で、返事をずるずる(重い物や長い物をゆっくり引きずるさま。少しずつ滑り落ちたり、後退したりするさま。物事の決まりをつけないさまと)引き延ばす。	回収 ひながな: かいしゅう 用例: アンケート用紙を回収した。	如何に ひながな: いかにも 用例: いかにも、仰る(おっしゃ)とおりで。彼はいかにも優等生のタイプだ。	如何 ひながな: いか(に) 用例: いかに熱弁(ねつべん)をふるっても、彼に賛同する人はいなかった。	空しい ひながな: むなしい 用例: いくら働いても、生活が楽にならないので、空しい(空虚である。内容がない)。
至って ひながな: いたって 用例: いたって暢気な(性格や気分が)のんびりとしていること)弟は、よく	気軽 ひながな: きがる 用例: いつでも気軽に飲める本格的な味の缶コーヒーが増えた。	悲観 ひながな: ひかん 用例: いつまでたっても成績が上らないのを悲観して、退学してしまっ	無口 ひながな: むくち 用例: いつも無口(口数の少ないこと。おしゃべりでないこと。また、そのさまや、その人。寡黙)なのに、今	タイミング ひながな: タイミング 用例: いくつかのタイミングを切りだそうかとタイミングを見計らっている。

宿題を忘れる。		た。	日はうれしいことがあったのか、よくしゃべる。	
今更 ひながな: いまさら 用例: いまさら謝られ(あやまられ)ても、もう遅い。	臆病 ひながな: おくびょう 用例: うちの犬は、図体は大きいのに臆病で、猫を見ても逃げる。	練る ひながな: ねる 用例: うどんは、粉に水と塩を加えて(くわて)よく練って作る。	嵩張る ひながな: かさばる 用例: おみやげが嵩張って(物の)かさが増す。体積が大きくて場所をとる)、スーツケースの蓋(ふた)が開まらない。	貶す ひながな: けなす 用例: お気に入りの洋服をけなされ、彼女は機嫌が悪い。
トラブル ひながな: とらぶる 用例: お客さまとのトラブルは絶対避けてください。	物好き ひながな: ものずき 用例: お金にもならない研究を、一生懸命やるなんて物好きな人だ。	浪費 ひながな: ろうひ 用例: お金の遣い道を考えて、浪費を防ぐ(ふせぐ)。	愛想 ひながな: あいそ 用例: お酒ばかり飲む夫(おっと)に愛想を付かした妻は、離婚した。あの店員は愛想がよい。	和やか ひながな: なごやか 用例: お茶を飲みながら和やかに語り(かたり)合った。
定まる ひながな: さだまる 用例: お天気が定まらない(さだまらない)ので出発できない。	ふり ひながな: ふり 用例: お年寄りが困っていたら、知らないふり(見せかけの態度や動作。ようす)をせずに助けよう。	ぺこぺこ ひながな: ぺこぺこ 用例: お腹がすいてぺこぺこ(物が凹んだり歪んだりする音や、そのさまを表す語)だ。	粉々 ひながな: こなごな 用例: ガラスが割れて粉々になった。	きっちり ひながな: きっちり 用例: きっちり(すきまやずれがない)さま。ぴったり、時間や数量に端数がないさま)3時に、この場所で会いましょう。
受け止める ひながな: うけとめる 用例: キャッチャーは、ピッチャーが投げた鋭い(すどい)変化球を受け止めた。	一目 ひながな: いちめ 用例: グラフに表すと、結果は一目瞭然(りようぜん)だ。彼女の才能はだれもが一目置く。	こうこう ひながな: こうこう 用例: クリスマスのイルミネーションが、夜空にこうこう(きらきらと輝くさま。明るく照るさま)と輝いていた。	はっと ひながな: はっと 用例: けがが意外と軽かったので、ほっと(思いがけない出来事にびっくりするさま、急に気づいたり思いあたってりするさま)した。	そっぽ ひながな: そっぽ 用例: けんかした後、妹は呼んでもそっぽ(よその方向、別の方)を向いて返事をしなかった。
こつ ひながな: こつ 用例: こつ(接頭)《接頭語「こ、小」に促音が加わったもの》形容詞、ときに動詞に付いて、いささか、相当に、はなはだしく、などの意を添える。)をつかんでから、商売がうまくいくようになった。	渋い ひながな: しぶい 用例: このお茶は渋すぎる(しぶすぎる)。彼女は若いわりに、洋服の好み(このみ)が渋い(しぶい)。	弾く ひながな: はじく 用例: このコートは防水加工がしてあって水を弾く。	華奢 ひながな: きやしや 用例: このドレスは、華奢な感じの女性に着て欲しい。	利点 ひながな: りてん 用例: このファクスの利点は、普通紙が使えることだ。
細やか ひながな: こまやか 用例: このペンダントは、模様が細やかで美しい。下町は人情がこまやかだ。	枯れる ひながな: かれる 用例: このまま才能が枯れていってしまうのだろうか。	暗示 ひながな: あんじ 用例: この絵の曲線(きよくせん)は、人間の叫び(さけび)(大声をあげること。思いでする主張)を暗示しているようだ。	気品 ひながな: きひん 用例: この絵は、実に巧みに描かれているが、気品(どことなく感じられる上品で気高い趣)に欠ける。	すみやか ひながな: すみやか 用例: この件に関しては、速やかに対策を立てる必要がある。
延べ ひながな: のべ 用例: この建物の延べ床面積は500平方メートルだ。	好ましい ひながな: このましい 用例: この頃、好ましく(感覚的に好きである。感じがいい。このもしい)ない事件が続いている。	一息 ひながな: ひといき 用例: この仕事が終わったら、一息入れてコーヒーでも飲もう。	労力 ひながな: ろうりよく 用例: この仕事には多くの労力を費やした(ついやした)。	携わる ひながな: たずさわる 用例: この仕事に携わるのが私の小さい時からの夢でした。
込める ひながな: こめる 用例: この手料理は、母が心を込めて作ったものだ。	辻褄 ひながな: つじつま 用例: この小説は前半と後半で矛盾があり、話の辻褄(「辻」は裁縫で縫い目が十字字に合う所。「褄」は着物の裾の左右が合う所、合うべきところがきちんと合う物事の道理。)が合わない。	屈折 ひながな: かつせつ 用例: この小説家の心理状態には、屈折したものがある。	準じる ひながな: じゅんじる 用例: この場合は、今までの規則に準じて処罰(しよばつ)するしかない。	名高い ひながな: なだかい 用例: この村はブドウの産地として名高い。
温和 ひながな: おんわ 用例: この地方は、気候が温和なため、みかんの栽培に適しているそうだ。	シック ひながな: しっく 用例: この部屋のインテリアはとてもシック(いきなさま。あか抜けしているさま。CHIC、フランス語)だ。	共感 ひながな: きょうかん 用例: この本の著者(ちよしゃ)の意見に共感した。	万能 ひながな: ばんのう 用例: この薬は万能で、どんな病気にも効く。	適宜 ひながな: てきぎ 用例: この料理は、仕上げにパセリを適宜散らすと良いだろう。
到底 ひながな: とうてい 用例: これだけ点差をつけられては、とうてい勝てないだろう。	値打ち ひながな: ねうち 用例: これは古い品だが、骨董(こどう)品としての値打ちはない。	強い ひながな: しいる 用例: こんな雨なのだから、強いて出かけることはない。	出くわす ひながな: でくわす 用例: こんな所であなたと出くわす(偶然に出会う。ばったりと会う。出会う)なんて、思いもよらなかった(考えもしなかった)。	配列 ひながな: はいれつ 用例: コンビニやスーパーでは、商品の配列に相当の工夫がある。
さっぱりする ひながな: さっぱりする 用例: シャワーを浴びてさっぱり(不快感やわだかまりなどが消えて気持ちのよいさま。すっきり)した。	味覚 ひながな: みかく 用例: スイカは、夏の味覚として親しまれて(たしまれて)いる。	かき回す ひながな: かきまわす 用例: スープの鍋を掻き回すと、良い匂いがした。	裾 ひながな: すそ 用例: スカート丈が長いので、5センチメートルくらい裾を上げた。	急かす ひながな: せかす 用例: すぐに出発しますから、そう急かさないでください。
兼用 ひながな: けんよう 用例: そのTシャツは男女兼用だ。	罅 ひながな: ひび 用例: そのアパートは、建ってから30年にもなるので、壁に罅が入っている。	畔 ひながな: ほとり 用例: そのホテルは、湖の畔(ほとり)にあって景色が良かった。	目下 ひながな: もっか 用例: その件については、もっか(目の前。すぐ近く。眼前)検討中なのでもう少しお待ちください。	要する ひながな: ようする 用例: その仕事には、少なくとも1週間を要する。
声明	マスコミ ひながな: ますこみ	兆し	共鳴 ひながな: きょうめい	面する

ひながな: せいめい 用例: その小国の指導者は、内外に緊急声明を発表した。	用例: その小説は、テレビや雑誌などのマスコミ(新聞・雑誌・ラジオ・テレビ・映画などのマスメディアによって、不特定多数の人々に対して大量の情報が伝達されること、MASS COMMUNICATION)に取り上げ	ひながな: きざし 用例: その少年が罪を犯すような兆しは、学校でもまったくなかった。	用例: その政治家の発言に共鳴して、その人の属する(ぞくする)政党に入った。	ひながな: めんする 用例: その部屋は大通りに面しているの、車の音がうるさい。
ぞんざい ひながな: ぞんざい 用例: ぞんざい(いいかげん)に物事をするさま。投げやり。粗略(ろそ)な受け答えをすると、その人自身の印象を悪くします。	初耳 ひながな: はつみみ 用例: そんなこと知らなかった、初耳だ。	突っ張る ひながな: つっぱる 用例: そんなに最後まで突っ張る(ゆるみがなく強くはる。自分の意見を曲げずに強く言い張る。程度が並はずれている)のなら、もう勝手にしなさい。	汚らわしい ひながな: けがらわしい 用例: そんなひどい噂話は、聞くのもけがらわしい。	中傷 ひながな: ちゅうしょう 用例: そんな噂は、私を落とされるための中傷に過ぎない。
さぞ ひながな: さぞ 用例: そんな手紙が届いたなんて、さぞ(副)あとに推量の語を伴って、未知の経験を目前のこのように想像したり、他人の経験に共感したりするさま。さだめし。きつと。さぞかし)びっくりなされたことでしょう。	紛れる ひながな: まぎれる 用例: たいくつな時、音楽を聞いていると、気が紛れる(入りまじって区別がつかなくなる。また、はっきりしなくなる)。	腕前 ひながな: うでまえ 用例: たいした腕前だ。結婚して3年もたつと、料理の腕前(巧みに物事をなする能力や技術。手並み。技量)も上がる。	完璧 ひながな: かんぺき 用例: たくさん勉強したので、これでテストの準備は完ぺきだ。	微塵 ひながな: みじん 用例: たまねぎを微塵切り(非常にこまかいちり)にする。もうけるつもりは微塵(物が割れたりして、非常にこまかくなること)もない。
過ち ひながな: あやまち 用例: だけれども若い時は、過ち(あやまち)の一つや二つは犯す(おかす)。	自惚れ ひながな: うぬぼれ 用例: くだれでも若い時は、過ち(あやまち)の一つや二つは犯す(おかす)。	思い付き ひながな: おもいつき 用例: ちょっとした思い付きから大発明が生まれることもある。	つくづく ひながな: つくづく 用例: つくづく(物事を、静かに深く考えたり、注意深く観察したりするさま。物事を痛切に感じるさま)会社が嫌になった。	体裁 ひながな: ていさい 用例: デーパーティーの会場を体裁よく飾る(かざる)。
夜更け ひながな: よふけ 用例: テストの前日は、夜更けまで勉強していた。	てつきり ひながな: てつきり 用例: てつきり(確かだと思っていた予想・推測が反対の結果となって現れた場合に用いる語。きつと)あなたの上司だと思い挨拶したが、どうも人違いだったようだ。	摘む ひながな: つむ 用例: どうぞ手で摘んで食べてください。	如何にか ひながな: どうにか 用例: どうにか彼はこの窮地(きゅうち)を切り抜けた。	転じる ひながな: てんじる 用例: ドラマでは、急に場面が転じて10年後になることがある。
舐める ひながな: なめる 用例: 本っは体を舐めて傷を治す。試験を嘗めてかかつたら、0点を取ってしまった。	着飾る ひながな: きかざる 用例: パーティーには、思いきり着飾って出かけましょう。	音色 ひながな: ねいろ 用例: バイオリンの音色(ねいろ)にはどこか寂しきがある。	割り込む ひながな: わりこむ 用例: バスを待つ列に割り込む(無理に押し分けて入り込む)人がいたので、注意した。	掠る ひながな: かする 用例: バットは、ボールに掠っただけだった。
ふんだん ひながな: ふんだん 用例: ハリウッド映画は、資金をふんだん(絶え間なく続くさま。転じて、あまるほど多くあるさま。豊富)に使って作られるので、豪華で面白い。	瞬き ひながな: まばたき 用例: ひつくりして、瞬きもせずに相手の顔を見つめた。	ひよっと ひながな: ひよっと 用例: ひよっと(不意に。思いがけず。もしかして。万一)したら雨が降るかもしれないから、傘を持って行こう。	遅しい ひながな: たくましい 用例: ひ弱だった彼も、苦労してからすっかり遅くなった。	歓声 ひながな: かんせい 用例: プール開きの日、プール中に水飛沫(みずしぶき)と歓声があがった。
没収 ひながな: ぼっしゅう 用例: ブランド品のにせものを製造していた業者が逮捕され、製品は全部没収された。	斑 ひながな: ぶち 用例: ペンキの塗り方にむらがあって、濃いところと薄いところがある。	惚ける ひながな: ほうける 用例: ほうけるこの写真はプリントが惚けている。	相応しい ひながな: ふさわしい 用例: ホテルでのパーティーには、その場に相応しい服装で出かける。	発足 ひながな: ほうそく 用例: ボランティアの連絡組織が発足した。
入手 ひながな: にゅうしゅ 用例: マイケル・ジャクソンのコンサートの切符は、入手が困難だ。	手本 ひながな: てほん 用例: まず手本を見せますから、後から自分でやってみてください。	成り立たない ひながな: なりたない 用例: みんなが法律を守らなければ、社会は成り立たない。	半端 ひながな: はんぱ 用例: みんなで分けたら半端が出たので、ほしい人に余計にあげた。	不当 ひながな: ふとう 用例: みんなと同じように働いているのに、私だけ給料が不当に低い。
弁解 ひながな: べんかい 用例: みんなに迷惑をかけたのだから、弁解するより、まず謝る(あやまる)のが先だ。	無暗に ひながな: むやみに 用例: むやみに山の木を切ると、洪水の原因になる。	今だ ひながな: いまだ 用例: もう12月だというのに、私はいまだに志望校を決めていない。	乏しい ひながな: とぼしい 用例: もう三ヶ月も失業中なので、貯金が乏しくなってきた。	軌道 ひながな: きどう 用例: モノレールは、1本の軌道にまたがって走る。
～増し ひながな: まし 用例: ランチにコーヒーをつけると、100円増しになります。	丸ごと ひながな: まるごと 用例: リンゴを切らないで、丸ごと齧る(かじる)。	根気 ひながな: こんき 用例: レース編みは、根気(物事を飽きずに長くやり続ける気力)のいる仕事です。	真に ひながな: まことに 用例: わざわざお見舞いに来ていただき、誠にありがとうございました。	態々 ひながな: わざわざ 用例: わざわざ遠いところをおいでいただき、ありがとうございました。
恐れ入る ひながな: おそれいる 用例: わざわざ届けていただき、恐れ入り(自分にとって過分と思われる目上の人の行為に対しての感謝の気持ちをあらわす挨拶。大変ありがとうございます)ます。	繁盛 ひながな: はんじょう 用例: 安くてうまいラーメンが評判になって、お店が繁盛している。	保つ ひながな: たもつ 用例: 安定した生活を保つためには、最低限の収入が必要だ。	食い違う ひながな: くいちがう 用例: 意見が大きく食い違い、議論にもならなかった。	堂堂 ひながな: どうどう 用例: 意見を発表する間、堂々とした態度を崩さない(くずさない)ようにした。
配分 ひながな: はいぶん 用例: 遺産の配分を巡って、相続人(そうぞくにん)の間で争いあそ	手遅れ ひながな: ておくれ 用例: 医者に見せた時には、病気はかなり進行していて、最早(もは	滲む ひながな: にじむ 用例: 一生懸命働く父の額には、汗	馴れ馴れしい ひながな: なれなれしい 用例: 一度お茶を飲んだだけなのに、恋人のように馴れ馴れしい態度	遣り通す ひながな: やりとおす 用例: 一度やると決めたことは遣り

いが起きた。	や)手遅れだった。	が滲んでいた。	をとる。	通す(最後までやる)。
物足りない ひながな: ものたりない 用例: 一泊だけではものたりない気がして、もう一日泊まることにした。	一連 ひながな: いちれん 用例: 一連の問題解決にむけて、話し合いが行われている。	鬱陶しい ひながな: うとうしい 用例: 雨が多く、鬱陶しい天気が続いている。	脆い ひながな: もろい 用例: 雨で地盤が脆く(もろく)なっているので、崖(がけ)崩れ(くずれ)に注意が必要だ。	野外 ひながな: やがい 用例: 雨のため、野外でのパーティーは中止になった。
見込み ひながな: みこみ 用例: 雨は今日 いっぱい降り続く見込みだ。	はらはら ひながな: はらはら 用例: 運転手がスピードを出すのではらはらした。桜の花弁(はなびら)がはらはら(小さいものや軽いものが、静かに続けて落ちかかるさま)と舞う(まう)。	催す ひながな: もよおす 用例: 運転中眠気を催したので、車を止めて暫く(しばらく)眠った。	必修 ひながな: ひっしゅう 用例: 英語は必修だが、美術は選択科目だ。	乃至 ひながな: ないし 用例: 英語を学ぶために、アメリカ乃至(あるいは、または)イギリスに行きたい。
無論 ひながな: むろん 用例: 駅まで遠いと、通勤には無論、買い物にも不便だ。	ぐっと ひながな: ぐっと 用例: 駅を出ると電車はぐっと(瞬間的に力を入れるさま。また、物事を一息に行うさま)スピードを上げた。	揺さ振る ひながな: ゆさぶる 用例: 演奏のすばらしさに、心を揺さ振られた。	救う ひながな: すぐ 用例: 緑日(えんにち)の屋台(やたい)で金魚をすくう。	微か ひながな: かすか 用例: 遠くのほうから微かに波の音が聞こえる。
効き目 ひながな: ききめ 用例: 塩分制限の効き目が始始め、近頃(ちかごろ)血圧が安定している。	望ましい ひながな: のぞましい 用例: 応募書類は、事前に書いてくれることが望ましい。	きっぱり ひながな: きっぱり 用例: 押し売りのような売り方なので、きっぱり(態度をはっきりと決めるさま)と断わった(ことわった)。	腫れる ひながな: はれる 用例: 殴られて、目の回りがはれた。	被れる ひながな: かぶれる 用例: 化粧品で肌が被れ、かゆい。彼はすっかり哲学に被れている。
宿命 ひながな: しゅくめい 用例: 何をやっても失敗ばかり、これが宿命なのだろうか。	空ろ ひながな: うつろ 用例: 何を考えているのか、高橋さんの瞳は、ぼんやりと空ろだった。	何気ない ひながな: なにげない 用例: 何気なく口にした一言が人を傷つける(きずつける)こともある。	懲りる ひながな: こりる 用例: 何度も失敗しているが、彼は懲りずにまた商売を始めた。	ばてる ひながな: ばてる 用例: 夏の暑さに、すっかりばてて《《「疲れ果てる」の「果てる」から出て、もとスポーツ選手などの間で用いられていた語》すっかり疲れてしまった》。
無駄使い ひながな: むだづかい 用例: 夏は雨が少なく、水不足になるので、水の無駄遣いはやめよう。	橋渡し ひながな: はしわたし 用例: 家売りたい人と買いたい人がいたので、その橋渡しをした。	ぶらぶら ひながな: ぶらぶら 用例: 暇なので、町をぶらぶら(ぶら下がり)て揺れ動くさま、成す事もなく毎日を暮らすさま。定年退職した父は、家でぶらぶらしている。	内緒 ひながな: ないしょ 用例: 花びんを割ってしまったことを、父には内緒にしておいた。	煌びやか ひながな: きらびやか 用例: 花嫁(はなよめ)は、煌びやかな衣装に身を包んでいた。
尽きる ひながな: つきる 用例: 我武者羅(がむしゃら)に働いてばかりいると、体力が尽きてしまう。	本格 ひながな: ほんかく 用例: 画家の弟子になって、油絵を本格的に学んだ。	根回し ひながな: ねまわし 用例: 会議の前に出席者に根回し(樹木などの移植のに、広がった根を根もとを中心に残して切り、細根の発生を促すこと。交渉や会議などで、事をうまく運ぶために、あらかじめ手を打っておくこと)しておいたので、提案は	健全 ひながな: けんぜん 用例: 会社経営が健全である。彼は健全な肉体と精神を兼ね備えて(かねそなえて)いる。	若しくは ひながな: もしくは 用例: 解答用紙には、鉛筆もしくはシャープペンシルで記入すること。
任命 ひながな: にんめい 用例: 開発チームのリーダーに任命されて、責任の重さを感じた。	持て成す ひながな: もてなす 用例: 外国からのお客様を、日本料理でもてなした(人を取り扱う。待遇する。あしらう)。	身振り ひながな: みぶり 用例: 外国語がわからなくても、身振り手振りで何とか通じる。	気兼ね ひながな: きがね 用例: 咳が止まらず、コンサートの間中、まわりの人に気兼ね(他人の思わくなどに気をつかうこと。遠慮)をした。	隔たる ひながな: へだたる 用例: 街から遠く隔たった農村に、彼女は暮らしている。
がითう ひながな: がითう 用例: 該当事項に丸印をつける。卒業論文を書くために、街頭でアンケート調査をすることにした。	安っぽい ひながな: やすっぽい 用例: 革製と比べて、ビニール製の靴は安っぽく(品物が劣っていいいかにも値うちがないように見えるさま)見える。	置いて ひながな: おいて 用例: 学業においても、運動においても、彼の右に出る者はいない。	何だかんだ ひながな: なんだかんだ 用例: 学校を卒業してから、何だかんだで20年になる。(ああだこうだ、あれやこれや、なんのかの、なんだかんだ)	興じる ひながな: きようじる 用例: 学生でありながら、芝居に興じて(楽しむ)、学業を疎かにしている。
町町 ひながな: まちまち 用例: 学生の国籍はまちまちで、中国人もいればアメリカ人もいる。	反発 ひながな: はんぱつ 用例: 学生の反発が強いので、夏休みの補習は中止した。	台無し ひながな: だいなし 用例: 楽しみにしていたキャンプも、雨で台無しに(ひどく汚れたり傷んだりして、役に立たなくなること)になった。	割り当て ひながな: わりあて 用例: 割り当ての仕事をきちんとこなす。	染みる ひながな: しみる 用例: 寒さが厳しく、骨身にしみる。Tシャツの背中に汗がしみ出ている。
がっくり ひながな: がっくり 用例: 完走した途端、がっくり(急に折れ曲がったり、くずおれたりするさま)と膝をついた。不合格と知り、がっくりときた。	浸す ひながな: ひたす 用例: 干し(ほし)椎茸(しいたけ)は、水に浸して、戻してから料理する。	内心 ひながな: ないしん 用例: 間に合ったから良かったものの、内心冷や冷や(ひやひや)した。	提携 ひながな: ていけい 用例: 関連企業との提携が、唯一残された会社再建の道です。	瞑る ひながな: つむる 用例: 顔の前で手を叩かれる(たたかれる)と、人は思わず目を瞑る。
月並み ひながな: つきなみ 用例: 企画会議は長時間に及んだが、月並みな(毎月きまって行われること、月に一度ずつあること)楽しかった。	格差 ひながな: かくさ 用例: 企業によって、社員の待遇に格差がある。	還元 ひながな: かんげん 用例: 企業の利益を、文化事業で社会に還元する。	固める ひながな: かためる 用例: 基礎をしっかりと固めて建てたビルだったので、地震の被害も少なかった。	納入 ひながな: のうにゅう 用例: 期限までに授業料を納入する。
見計らう ひながな: みはからう	気紛れ ひながな: きまぐれ	遠ざかる	反する	同感 ひながな: どうかん

<p>用例：帰宅する時間を見計らって(時間などのおおよその見当をつける)、友人を訪ねた。</p>	<p>用例：気紛れに布を繋いで(つないで)いたら、きれいなパッチワークの作品になった。</p>	<p>ひながな：とおさかる 用例：汽笛がだんだんと遠ざかる。</p>	<p>ひながな：はんする 用例：規則に反すると、罰を与えられる(あたえられる)。</p>	<p>用例：記事を読んで、著者の主張には同意できるところが多々あった。</p>
<p>迅速 ひながな：じんそく 用例：客の苦情を迅速に処理する。</p>	<p>切り替える ひながな：きりかえる 用例：休日には、頭を切り替えて、仕事を忘れたほうが良い。</p>	<p>所在 ひながな：しょざい 用例：宮城県の県庁所在地は仙台だ。</p>	<p>申し出る ひながな：もうしでる 用例：急いでいる人は申し出て(意見や希望などを、自分から言って出)るください。</p>	<p>施す ひながな：ほどこす 用例：救急車が到着する前に、応急処置を施した。</p>
<p>仮 ひながな：かり 用例：救急隊員は、かりの処置だけ行い、医者に任せた(まかせた)。これは仮のたえ話だ。</p>	<p>手当て ひながな：てあて 用例：給料には家族手当や住宅手当が含まれて(ふくまれて)いる。</p>	<p>巧み ひながな：たくみ 用例：漁師は、巧みに網を操って(あやつって)魚を追いつ込んでいく。</p>	<p>目論見 ひながな：もくろみ 用例：競馬で一儲け(ひともうけ)しようという目論見(もくろむこと)。また、その内容。計画。企て)が外れて、大損(おおぞん)をした。</p>	<p>剥ぐ ひながな：はぐ 用例：強盗は、身包み(みぐるみ)はいてすべてを持ち去った。</p>
<p>普通 ひながな：ふへん 用例：教科書の記述は、普遍的なものが望ましい。</p>	<p>～割 ひながな：わり 用例：教室にいる人の3割はめがねをかけている。</p>	<p>差し掛かる ひながな：さしかかる 用例：橋の上に差し掛かった(ちょうどその時期になる。ある場面になる)時、向こうからやってくる母を見つけた。</p>	<p>仕入れる ひながな：しいれる 用例：近所の付き合いで、商店会の行事に寄付を強いられた。その日の朝に仕入れた新鮮な材料で、料理を作る。</p>	<p>くつきり ひながな：くつきり 用例：空に、飛行機雲が、くつきり(物の姿や形が非常にはっきりとしているさま)と見える。</p>
<p>省みる ひながな：かえりみる 用例：偶(たま)に昔のことを顧みる、新たな気分になる。過ちを省みない人は、進歩しないと思う。</p>	<p>ぶかぶか ひながな：ぶかぶか 用例：靴がぶかぶか(身に着ける物が)大きすぎて、緩んでいるさま)だったので、走ったら脱げてしまった。</p>	<p>緩む ひながな：ゆるむ 用例：靴の紐(ひも)が緩んだので結直す(むす)ひなます)。</p>	<p>危害 ひながな：きがいはい 用例：熊が人に危害を加える事件が起こった。</p>	<p>眺える ひながな：あつらえる 用例：兄は、既成服に合わない体形なので、服を縫えて(あつらえて)(注文して作らせること。また、そうした品物)いる。</p>
<p>生やす ひながな：はやす 用例：兄は最近口髭(くちひげ)を生やしている。ついに彼も、この土地に根を生やした。</p>	<p>嵌まる ひながな：はまる 用例：型に嵌ったこれまでの生活を捨て、自由に生きることにした。</p>	<p>何卒 ひながな：なにとぞ 用例：契約の件は、何卒よろしくお願いします。</p>	<p>心掛ける ひながな：こころがける 用例：敬語の使い方の心得がないようでは、社会人として失格だ。</p>	<p>抜け出す ひながな：ぬけだす 用例：経済は、いよいよ不況を抜け出して、好況の局面に入った。</p>
<p>～界 ひながな：～かい 用例：芸能界で長く生きていけるのは、ほんの一部の人だけだそうだ。</p>	<p>強請る ひながな：ねだる 用例：結婚10年目の記念に、妻は夫にダイヤモンドの指輪を強請った。</p>	<p>捲る ひながな：めくる 用例：月が変わったので、カレンダーをめくる。</p>	<p>だるい ひながな：だるい 用例：月曜の朝は、少し体がだるい(疲れや病気などで、からだを動かすのがおっくうである。かつたるい)ように思う。</p>	<p>増して ひながな：まして 用例：健康な人でさえ、この暑さは堪える(こたえる)、まして(いっそう。さらに。もっと)病人は、尚更(なおさら)だ。</p>
<p>何より ひながな：なにより 用例：健康には睡眠が何よりだ。漫画が何より(抜きんでていること。それよりほかにないこと)好きだ。</p>	<p>見積もり ひながな：みつもり 用例：建設会社に、建築費の見積りを出させる。</p>	<p>見通し ひながな：みとおし 用例：建物は今週中に完成する見通しだ(初めから終わりまで見つづけること)。</p>	<p>迫害 ひながな：はくがいはい 用例：権力者の迫害(はくがいはい)に耐えて正義を貫いた。</p>	<p>懐く ひながな：なつく 用例：犬好きの山田さんにはどんな犬でもよく懐く。</p>
<p>厳密 ひながな：げんみつ 用例：厳密な審査の末、彼女が選ばれた。</p>	<p>負う ひながな：おう 用例：現在の彼の成功は、母親の教育に負うところが大きい。失敗した責任を負う。</p>	<p>絞びる ひながな：ほころびる 用例：古いシャツの縫い目が絞びていた。</p>	<p>必然 ひながな：ひつぜん 用例：古いものが消え去り、新しいものが主流になるのは、歴史の必然だ。</p>	<p>軋む ひながな：きしむ 用例：古い建物の中を歩くと、床が軋んで(きしんで)鳴った(なった)。</p>
<p>下取り ひながな：したどり 用例：古い自動車を下取り(商品の代金の一部に当てるものとして、購入した客から古くなった同種の品物を引き取ること)してもらい、新車を少々安く買った。</p>	<p>和風 ひながな：わふう 用例：古めかしい(めかしい)風旅館に泊まる。</p>	<p>解ける ひながな：とける 用例：固く結ん(むすん)であつたので、紐がなかなかほどけなかった。</p>	<p>円滑 ひながな：えんかつ 用例：交渉が円滑に進んで安心した。</p>	<p>募る ひながな：つもの 用例：交通安全の標語を、広く一般から募ることにした。</p>
<p>とんだ ひながな：とんだ 用例：交通事故で人を死なせるなんて、とんだ(話し手の判断の範囲を越えていることをさしていう、意外な、思いのほかの)ことをしてしまった。</p>	<p>巧妙 ひながな：こうみょう 用例：光沢(こうたく)こんな美しい光沢の生地は見つたことがない。</p>	<p>囀る ひながな：さえずる 用例：公園では、あちこちで小鳥が囀っている。</p>	<p>目途 ひながな：めど 用例：工事が遅れていて、完成の目途(目指すところ、目当て、また、物事の見通し)がつかない。</p>	<p>交える ひながな：まじえる 用例：講師は冗談を交えて(つけ加えて一つにする、加え入れる)面白く話したので、難しい講義も退屈しなかった。</p>
<p>禁物 ひながな：きんもつ 用例：高血圧の人に、漬物など塩分の多い食物は禁物です。</p>	<p>清々しい ひながな：すがすがしい 用例：高原の風と空気は清々しい。</p>	<p>連なる ひながな：つらなる 用例：国境近くに山々が連なっている。</p>	<p>自ずから ひながな：おのずから 用例：今、何に興味があるか考えれば、自ずから、自分の進むべき道が見えてくる。</p>	<p>手元 ひながな：てもと 用例：今あなたの手元にある印鑑をお借りしたいのですが。</p>
<p>白状 ひながな：はくじょう 用例：今だから白状(隠していた事実や自分の犯した罪を申し述べること)するが、実は昔、悪いことをしたことがある。</p>	<p>コマーシャル ひながな：コマーシャル 用例：今の子どもは、コマーシャルのおかげで、何でも知っている。</p>	<p>だぶだぶ ひながな：だぶだぶ 用例：今の若者のあいだでは、だぶだぶ(容器に液体がたくさん入っていて揺れ動くさま。衣服などが大きすぎてゆるいさま。また、太りすぎ)のズボンが流行している。</p>	<p>仕切る ひながな：しきる 用例：今回のパーティーの進行を、彼が仕切る。部屋を二つに仕切って(境を作って他と区別する、隔てとなるものを設けて、いくつかの部分に分ける)姉妹で使う。</p>	<p>覆す ひながな：くつがえす 用例：今回の発見は、これまでの定説を覆す歴史的なものだ。</p>
<p>上回る</p>	<p>嵩む</p>	<p>連休</p>	<p>しくじる</p>	<p>奢る</p>

ひながな: うわまわる 用例: 今月の売上は、先月を大幅に上回っている(ある基準数量を超える、予定量以上になる)。	ひながな: かさむ 用例: 今月は冠婚葬祭(かんこんそうさい)が多かったので、出費が嵩んだ。	ひながな: れんきゅう 用例: 今度の連休には、2泊3日で温泉に行く。	ひながな: しくじる 用例: 今度はしくじら(遣り損なう、失敗する)ないよう、準備を万全にして試験に臨んだ(のぞんだ)。	ひながな: おごる 用例: 今度夕食を奢るから、今日の残業替わってくれない?
個別 ひながな: こべつ 用例: 今日から2年生の個別指導が始まる。	旧知 ひながな: きゅうち 用例: 今日の会は、旧知の人ばかりの集まりです。	下調べ ひながな: したしらべ 用例: 今日の公開授業のため、入念な下調べをした。	自棄 ひながな: やけ 用例: 今日はやけに「自棄」の意から、度を越して程度の基だしいさま)お客が多くて、閉店前に売り切れてしまった。	切実 ひながな: せつじつ 用例: 今年の夏の水不足は切実だ。
殊に ひながな: ことに 用例: 今年の冬は殊に冷え込みが厳しい。	遅くとも ひながな: おそくとも 用例: 今夜は、遅くとも8時には帰るよ。	何なり ひながな: なんなり 用例: 困ったが、どうぞ遠慮せずに何なりと相談してください。	逃げ出す ひながな: にげだす 用例: 困難にぶつかって逃げ出し、いては何も解決しない。	賭け ひながな: かけ 用例: 佐藤さんは賭けごとに夢中になって、本業を疎かにしている。
小柄 ひながな: こがら 用例: 詐欺師は巧妙な手口で、被害者を信用させた。	廃れる ひながな: すたれる 用例: 最近の流行は、すぐに廃れる(すたれる)。	重んじる ひながな: おもんじる 用例: 最近は、学歴よりも能力を重んじる企業が増えてきたそうだ。	紛らわしい ひながな: まぎらわしい 用例: 最近は似たような名前の会社が多いので、紛らわしい。	専ら ひながな: もっぱら 用例: 最近忙しいので、専ら外食だ。
控える ひながな: ひかえる 用例: 最近太ったので、甘い物を控えている。大切なことを手帳に控えて置く。	蕩ける ひながな: とうける 用例: 最高級のフランス料理を食べて、舌がとうけそうだった。	使用 ひながな: しょう 用例: 最早同にも仕様がなかった。箱の中にやり方の書かれた仕様書がある。	打ち明ける ひながな: うちあける 用例: 妻に転職したいと打ち明けたところ、賛成してくれた。	拘る ひながな: こたわる 用例: 済んでしまったことに、いつまでもこだわっていてもしょうがない。
物資 ひながな: ぶっし 用例: 災害にあった国に、食料や医薬品などの物資を援助する。	肝心 ひながな: かんじん 用例: 細かいことに気を採られて(とられて)、肝心な点を見落とす。	並び ひながな: ならび 用例: 裁判官、検事並びに弁護士は、司法試験に合格しなければならぬ。	反る ひながな: そる 用例: 材木は乾燥させないと、あとで床板(ゆかいた)などが反る。	ばら撒く ひながな: ばらまく 用例: 財布の口が開いていたのに気付かず、小銭をばら撒いて(ばらまいて)(ばらばらに散らして撒く。方々にまき散らす)しまった。
手順 ひながな: てじゆん 用例: 作業に入るまえに手順を確認しておく。	一挙に ひながな: いっきょに 用例: 作品を一挙に完成させる。	肝 ひながな: いびき 用例: 昨夜は、同室の原田さんの鼾(いびき)がうるさくて、眠れなかった。	野生 ひながな: やせい 用例: 山に近い村には、時折、えさを求めて野生の猿がやってくる。	意気込む ひながな: いきこむ 用例: 山下さんを説得しようと、意気込んで訪ねた(たずねた)のに、留守(るす)だった。
嫌に ひながな: いやに 用例: 山中さんは、今日に限って、いやに大人しい。	すれ違い ひながな: すれちがい 用例: 山登りの時は、知らない人同士でも、擦れ違いざまに声を掛け合う。	論理 ひながな: ろんり 用例: 山本さんの考え方は、極めて(きわめて)理的だ。	体つき ひながな: からだつき 用例: 山本さんは、モデルのような体つき(筋肉のつき方や骨格など、外部に現れた身体(からだ)の状況・形)をしている。	捗る ひながな: はかどる 用例: 仕事が思ったより捗った(仕事が順調にどんどん進む)ので、早く帰ることができた。
ノイローゼ ひながな: ノイローゼ 用例: 仕事が性格に合わなかったせいで、ノイローゼ(NEUROSIS神経症)になった。	未練 ひながな: みれん 用例: 仕事に未練(執心が残って思い切れないこと。あきらめきれないこと。熟練していないこと)はあったが、出産を機に会社を辞めることにした。	手回し ひながな: てまわし 用例: 司会者の手回しがよかったので、式は順調に進んだ。	見逃す ひながな: みのがす 用例: 子どものいたずらだから、見逃して(見ていながら気づかないでそのままにする。見落とす。未定ながら、咎めない。大目に見る)やろう。	良識 ひながな: りょうしき 用例: 子どものお金をだまし取るなんて、良識のある大人のすることではない。
円らな ひながな: つぶらな 用例: 子どもの円らな瞳を見ていると、心がなごむ。	おまけ ひながな: おまけ 用例: 子どもの頃、おまけ(商品を引きずること、ある事に付け加えること。値引きの代わりに、景品を添えたりすること。)が欲しくて、よくお菓子を買った。消費税分おまけした。	見苦しい ひながな: みぐるしい 用例: 子どもの前で、夫婦げんかをするのは見苦しい(みぐるしい)。	きちっと ひながな: きちっと 用例: 子どもは、母の言い付けを、きちっと(きちんと、よく整って、乱れたところのないさま)守った。	窮屈 ひながな: きゅうくつ 用例: 子どもは成長が早いので、去年の服がもう窮屈だ。
寄り掛かる ひながな: よりかかる 用例: 子どもは疲れていたのか、いすの背に寄り掛かって寝てしまった。	露骨 ひながな: ろこつ 用例: 子ども向けの映画では露骨な描写(ようしや)避けるべきだ。	寛容 ひながな: かんよう 用例: 子ども同士のケンカなので、寛容な態度で臨むことにした。	怯える ひながな: おびえる 用例: 子犬は、大きな犬が近くに寄ってきたので怯えていた。	適う ひながな: かなう 用例: 思いが適って、彼と結婚することになった。
傍ら ひながな: かたわら 用例: 私が絵を描く傍らで、猫が寝ている。彼は会社経営の傍ら、小説を書いている。	及ぶ ひながな: およぶ 用例: 私の日本語能力は、ジョンさんの足元にも及ばない。	同等 ひながな: どうとう 用例: 私は、生徒達を全員同等に扱っているつもりだ。	凝る ひながな: こる 用例: 私は今、料理に凝っている。凝った模様のセーターを編む。	痣 ひながな: あざ 用例: 私は生まれながらに、左手に小さな痣があります。
情 ひながな: じょう 用例: 私は二人の情にうたれ、協力を申し出た。	視野 ひながな: しゃ 用例: 視力が落ちていなくても、視野が狭まったのなら、眼科で受診したほうがよい。	運用 ひながな: うんよう 用例: 資産の運用を誤る(あやまる)と会社の経営が危なくなる。	大筋 ひながな: おおすじ 用例: 事件の大筋が、警察側から発表された。	背後 ひながな: はいご 用例: 事件の背後に、大物政治家の影がちらつく。

手配 ひながな: てはい 用例: 事件の容疑者が、今夜、指名手配された。	申し入れる ひながな: もうしいれる 用例: 事故が多い交差点に信号をつけるように、警察に申し入れた。	逸らす ひながな: そらす 用例: 事故の悲惨さに思わず目を逸らした。	夥しい ひながな: おびたしい 用例: 事故現場には、夥しい量の血が流れていた。	拝借 ひながな: はいしゃく 用例: 事態を解決するために、あなたのお知恵を拝借したい。
趣き ひながな: おもむき 用例: 時には趣きを変えて、庭にテーブルといすを出して食事をしよう。	一括 ひながな: いっかつ 用例: 時間がないので、三つの議案を一括して審議する。	時折 ひながな: ときおり 用例: 時折(ときどき。時たま)彼はこの家にやってくる。	究極 ひながな: きゅうきよく 用例: 自分で納得する究極の作品ができる前に、先生は亡くなってしまった。	惚ける ひながな: とぼける 用例: 自分の立場が悪くなると、父はすぐ惚ける(間かれたことに対して、態と知らない振りをする。何処となく間の抜けた滑稽な表情やしぐさをする)。
謹む ひながな: つつしむ 用例: 失礼にならないよう言葉を謹む。	一同 ひながな: いちどう 用例: 社の発展のために、社員一同、力を合わせて頑張っている。	ブーム ひながな: ブーム 用例: 社交ダンスが、最近ブームになっている。	一様 ひながな: いちよう 用例: 社長の言葉に、みな一様に青いた(うなずいた)。	指図 ひながな: さしず 用例: 社長は部下たちに指図して(物事のやり方などを指示、命令して人を動かすこと)、新しい契約をまとめさせた。
設ける ひながな: もうける 用例: 社内に保育所を設けたので、小さい子を持つ母親が働きやすくなった。	冷淡 ひながな: れいたん 用例: 借金を断ると、友人は急に冷淡になった。	華華しい ひながな: はなばなしい 用例: 若い時は華々しく活躍したが、最近は目立たない。	無茶 ひながな: むちゃ 用例: 若い人は、無茶な(筋道が立たず、道理に合わないこと。また、そのさま)運転をして事故を起こしやすい。	手筈 ひながな: てはず 用例: 手はず(物事をする際に、前もって決める手順)通りなら、彼はもう到着している頃だ。
細工 ひながな: さいく 用例: 手作りの家具は、細工が精巧で美しい。	余所見 ひながな: よそみ 用例: 授業中、よそ見をしていて先生にしかられた。	連ねる ひながな: つらねる 用例: 修学旅行の一行は、5台のバスを連ねて出発した。	帯びる ひながな: おびる 用例: 秋になり、木の葉が赤みを帯びてきた。	望む ひながな: のぞむ 用例: 十分に準備をして試験に臨んだ。
従来 ひながな: じゅうらい 用例: 従来どおりのやり方には限界がある。	嫉む ひながな: ねたむ 用例: 出世を嫉んだ(他人が自分よりすぐれている状態をうらやましく思っって憎む)人から、彼は嫌がらせを受けた。	内訳 ひながな: うちわけ 用例: 出張費の内訳を説明した。	間誤付く ひながな: まごつく 用例: 初めてのところなので、何がどこにあるのかわからず、間誤付いた。	類推 ひながな: るいすい 用例: 初めての漢字でも、その前後から意味を類推できる。
決まり悪い ひながな: きまりわるい 用例: 初めてパーティーに招待された彼女は、決まり悪そうにモジモジしていた。	貫く ひながな: つらぬく 用例: 初志を貫いて、目的の大学に入った。	閉口 ひながな: へいこう 用例: 暑い日に、クーラーもないところで、1時間も待たされて閉口した。	びっしょり ひながな: びっしょり 用例: 暑かったので、汗をびっしょり(ひどく濡れるさま)かいた。	嘲笑う ひながな: あざわらう 用例: 助けを求め(もとめ)にきた人を、何もせず嘲笑っていたあの男は酷い。
励ます ひながな: はげます 用例: 傷ついた友人を励ました。	建前 ひながな: たてまえ 用例: 商人は、お客さま第一を建前としている。本音(ほんね)と建前は別だ。	嘗て ひながな: かつて 用例: 嘗て見たこともないほど、美しい海だった。	有望 ひながな: ゆうぼう 用例: 将来有望な新人がチームに加わった(くわわった)。	もがく ひながな: もがく 用例: 小さな子が、プールで溺れそう(おぼれそう)になってもがいて(悶え苦しんで手足をやたらに動かす、足掻く)いる。
振るわせる ひながな: ふるわせる 用例: 小犬は、雨にぬれて全身を震わせていた。	諸に ひながな: もろに 用例: 小船が大浪を諸に受けて、沈んでしまった。	粹 ひながな: いき 用例: 小林さんは、なかなか粋な人だ。	おどおど ひながな: おどおど 用例: 少年は何かにおびえているかのように、おどおど(緊張・不安や恐怖心で落ち着かないさま)した目つきをしていた。	見地 ひながな: けんち 用例: 消費者の見地からすると、この決定は妥当なものと言える。
本場 ひながな: ほんば 用例: 上海で本場の中華料理を味わう。	嫌嫌 ひながな: いやいや 用例: 上司からの依頼なので、その会合にいやいやに参加した。	心得 ひながな: こころえ 用例: 上司にほめられ、天にも昇る心地がした。寝心地のよいベッドを買う。	情け深い ひながな: なさげぶかい 用例: 情け深い人が、捨てられた子猫を拾(ひろ)って育ててくれた。	心地 ひながな: こち 用例: 条件や環境が異なるので、この問題は個々に検討すべきだ。
うんざり ひながな: うんざり 用例: 食べすぎたので、料理を見ただけでうんざり(物事に飽きて、つくづくいやになるさま)する。	正しく ひながな: まさしく 用例: 食器といってもここまで美しく仕上げてあると、これはまさしく芸術だ。	最中 ひながな: さいちゅう 用例: 食事の最中、歯が痛み出した。	権限 ひながな: けんげん 用例: 審判の権限で試合は中止になった。	ストレス ひながな: ストレス 用例: 新しいお店の売り上げが伸びず、ストレスが溜まる(たまる)一方だ。
試みる ひながな: こころみる 用例: 新しい企画を試みたが、結果は失敗におわった。	見せびらかす ひながな: みせびらかす 用例: 新しい車を買ったので、みんなに見せびらかして(自慢らしく見せつける。誇示する)いる。	論議 ひながな: ろんぎ 用例: 新しい政策について論議する。	弾む ひながな: はずむ 用例: 新たな期待にこころが弾む。	冷やかす ひながな: ひやかす 用例: 新婚の彼を周りの女子社員がいつも冷やかしている。
類似 ひながな: るいじ 用例: 新商品に対し、類似の苦情が多く寄せられている。	生温い ひながな: なまぬるい 用例: 真夏の太陽に温められて、海の水は生温くなっていた。	真相 ひながな: しんそう 用例: 真相が明らかになるまで、事件の調査は続いた。	境遇 ひながな: きょうぐう 用例: 親兄弟と引き離され、孤独な境遇に育った。	有触れる ひながな: ありふれる 用例: 親友の結婚祝い(いわい)だから、有り触れた(どこにでもある。皿にある。普通であって珍しくない)品ではなく、特別なものを贈りたい。

身近 ひながな: みぢか 用例: 身近に知っている人がいないと、何かあった時に不安だ。	辛うじて ひながな: かるうじて 用例: 辛うじて、難を逃れることができた。	情けなし ひながな: なさけなし 用例: 人の情けに縋る(すがる)のもよいが、自分の努力が肝心だ。こんなやさしい漢字も書けないなんて、情けない。	引いては ひながな: ひいては 用例: 人の世話をすることが、引いては自分のためにもなる。	連日 ひながな: れんじつ 用例: 人気の映画を、連日大勢の人が見に行った。
据える ひながな: すえる 用例: 人形を台座に据えて飾った(かざった)。背中の痛い所に灸(きゅう)を据えた。	出直し ひながな: でなおし 用例: 人材が集まらないので、計画は最初から出直しになった。	萎びる ひながな: しなびる 用例: 水をやり忘れたので、花が萎びてしまった。	除ける ひながな: のぞける 用例: 水溜りがあったので除けて通った。	見落とす ひながな: みおとす 用例: 数字の間違いを見落とし、会議で指摘されて恥をかいた。
仕組み ひながな: しくみ 用例: 世の中の仕組みには、ときどき納得のいかないところがある。	恥じる ひながな: はじる 用例: 世間に恥じるような行為をしてはならない。	方式 ひながな: ほうしき 用例: 正確な統計資料を作るため、新しい計算方式を採用した。	庇う ひながな: かばう 用例: 正義感が強い彼は、子どもの頃から弱い者を庇っていた。	賄う ひながな: まかなう 用例: 生活は夫の給料で賄っている。
生身 ひながな: なまみ 用例: 生身人間だから涙も流し、興奮して熱くなる。	振り返る ひながな: ふりかえる 用例: 声をかけられて振り返ると、学生時代の友人だった。	音 ひながな: おん 用例: 静かな夜、誰かが吹く笛の音が聞こえてきた。辛い練習に音を上げた。	籤 ひながな: くじ 用例: 席順を決めるため、籤(くじ)を引く。賞金に惹かれて宝籤を買った。	清らか ひながな: きよらか 用例: 赤ちゃんの瞳は、清らかであとけない(無邪気でかわいい。無心である)。
丸々 ひながな: まるまる 用例: 赤ん坊は、まるまると太っていた。	面目 ひながな: めんぼく 用例: 先生の推薦で会社に入社したのだから、頑張らないと先生の面目が立たない。	度忘れ ひながな: どわすれ 用例: 先生の名前を度忘れして恥を書いた。	滅びる ひながな: ほろびる 用例: 千年続いた王国は、隣国との戦争に敗れ滅びた。	束ねる ひながな: たばねる 用例: 洗った髪を一つに束ねる。
前以て ひながな: まえもって 用例: 前以て地図で調べておいたので、道に迷わないですんだ。	前置き ひながな: まえおき 用例: 前置きは抜きにして、すぐに本題に入ろう。	前提 ひながな: ぜんてい 用例: 全員参加を前提に旅行の計画を立てる。	一律 ひながな: いちりつ 用例: 全社員一律2パーセントの昇給が決定した。	尽くす ひながな: つくす 用例: 全力を尽くして戦った(たたか)ったが、いま一步及ばなかった。
浅ましい ひながな: あさましい 用例: 祖父が亡くなった途端、遺産を巡って浅ましい品性が卑しい、身分や姿形が卑しい、予想と違った結果に驚き呆れる気持ち(をいう)争いが始まった。	健在 ひながな: けんざい 用例: 祖父は、田舎で健在だ。彼の才能が健在であることをアピールした。	取り分け ひながな: とりわけ 用例: 素晴らしい作品ばかりだったが、取り分け彼女の絵は際立って(きわだって)いた。	合致 ひながな: がっち 用例: 双方の希望が合致(がっち)した。	対処 ひながな: たいしよ 用例: 相手が大物なので、対処を間違えると責任問題にもなり兼ねない。
打ち込む ひながな: うちこむ 用例: 相手のコートへ、球を強く打ち込んだ。仕事に打ち込んで(上から)強くたいて中へ入れる。精力を注ぐ。熱中する(をいう)。	遮る ひながな: さえぎる 用例: 相手の言葉を遮ってしまい、口論になった。新ビルによって日光が遮られる。	危ぶむ ひながな: あやぶむ 用例: 遭難(そうなん)した船の行方は、未だ(いまだ)にわからず、乗組員の(のりくみいん)の生存が危ぶまれてあやぶまれている。	顔付き ひながな: かおつき 用例: 息子は、性格も顔つきも、父親に似てきた。	切ない ひながな: せつない 用例: 卒業して友達と離れ離れになるのは切ない。
申し分 ひながな: もうしぶん 用例: 卒業論文は、申し分ないほどよくできています。	詰る ひながな: なじる 用例: 他人の失敗を詰るだけでは、問題は解決しない。	誤差 ひながな: ごさ 用例: 多少の誤差を、最初から計算に入れて設計する。	目盛り ひながな: めもり 用例: 太陽が朝から照りつけて、温度計の目盛りが30度を超えた。	しなやか ひながな: しなやか 用例: 体操選手の体は、とてもしなやか(弾力)があってよくしなうさま、柔らか(ななめ)なさまだ。
適わない ひながな: かなわない 用例: 体力では、彼に適わない。今日は暑くて適わない。	組み合わせる ひながな: くみあわせる 用例: 対戦するチームを組み合わせる。ブロックをうまく組み合わせ、城を作る。	待ち望む ひながな: まちのぞむ 用例: 待ち望んでいた友人との再会が、やっと実現した。	日取り ひながな: ひどり 用例: 退院の日取りは、今週中に決まる。	逃れる ひながな: のがれる 用例: 台風から逃れるために、漁船(ぎょせん)は進路を変えた。
見合わせる ひながな: みあわせる 用例: 台風が近づいているというので、出発を見合わせた。	満たす ひながな: みたす 用例: 大きなコップに並々とビールを満たす。	弛む ひながな: たゆむ 用例: 大きな仕事を一つ片付けたら、気が弛んでしまった。	丸める ひながな: まるめる 用例: 大きな紙を丸めて筒に入れる。	見渡す ひながな: みわたす 用例: 大火事の被害にあった町は、見渡す(遠くまで)広く眺める。広い範囲にわたって見る)限り焼け野原だった。
恐れ ひながな: おそれ 用例: 大型の台風が上陸する恐れがあります。	欠乏 ひながな: けつぼう 用例: 大雪に閉じ込められて、だんだん食料も欠乏してきた。	蹴飛ばす ひながな: けとばす 用例: 大男にむこうずねを蹴飛ばされ、痛さにしゃがみこんでしまった。	復旧 ひながな: ふつきゅう 用例: 大地震のあと、懸命の復旧作業が続けられた。	大方 ひながな: おおかた 用例: 大方の予想通り、小林氏は当選した。
目覚しい ひながな: めざましい 用例: 第二次世界大戦後、日本はめざましい発展を遂げた。	整然 ひながな: せいぜん 用例: 棚の上に、植木鉢が整然と並んでいる。	箸る ひながな: むしる 用例: 鰻(たら)の干物(ひもの)を箸って(つか)んだりつまんだりして引き抜く)食べる。	単一 ひながな: たんいつ 用例: 単一民族から成る国家は数少ない。	命中 ひながな: めいちゅう 用例: 弾(たま)が(器(うつわ))引いて、鳥が命中されて落ちてきた。

潜る ひながな: もぐる 用例: 暖簾(のれん)を潜って店に入る。	咄嗟に ひながな: とっさに 用例: 地震が起こった時、私は咄嗟に(その瞬間に、たちどころに)ガスの火を消した。	茫然 ひながな: ぼうぜん 用例: 地震で家が全壊し、暫く茫然としていた。	俯く ひながな: うつむく 用例: 恥ずかしかったので、彼女はずっと俯いていた。	着目 ひながな: ちやくもく 用例: 着目すべき点を間違えると、問題が思わぬ方向へ進んでしまう。
煩わしい ひながな: わずらわしい 用例: 中学生になると、親の意見や忠告を煩わしく思うようになる。	ロマンチック ひながな: ロマンチック 用例: 中世のお城のようなロマンチックなホテルに泊まる。	意図 ひながな: いと 用例: 著者の意図がよく分からない本だった。	痛切 ひながな: つうせつ 用例: 挑戦者はチャンピオンに敗れて、力の差を痛切に実感した。	滞る ひながな: とどこおる 用例: 朝・夕のラッシュ時は、車の流れが滞る。
丸切り ひながな: まるぎり 用例: 朝からずっと釣りをしているが、丸っきり釣れない。	押し込む ひながな: おしこむ 用例: 朝のラッシュ時は、駅員が乗客を電車に押し込んでいた。	手軽 ひながな: てがる 用例: 朝は、時間がないので、パンとコーヒーで手軽に食事を済ませる。	あせる ひながな: あせる 用例: 朝寝坊をしたので焦って(落ち着きを失う。気が急ぐ)出かけた。何度も洗濯したのでTシャツの色が褪せた(あせた)。	過疎 ひながな: かそ 用例: 町の過疎化に、町長は悩まされ(なやまされ)ている。
持ち切り ひながな: もちぎり 用例: 町は、昨夜(さくや)UFOが空に浮かんで(うかんで)いたという噂で持ち切りだ(あるあいだ中同じ話題が続くこと)。	明白 ひながな: めいはく 用例: 調査の結果、川の水は予想以上に汚染されていることが明白になった。	辛抱 ひながな: しんぼう 用例: 長年辛抱してきたが、やっと新しいアパートに移る(うつる)ことができた。	逃す ひながな: のがす 用例: 釣り糸(つりいと)が切れて、大きな魚を逃してしまった。	満場 ひながな: まんじょう 用例: 提案は満場一致で可決された。
すばしこい ひながな: すばしこい 用例: 泥棒はすばしこくて(動作がきびきびしている)、逃げ足が早かった。	欺く ひながな: あざむく 用例: 敵を欺くために、一度退却するふりをした。	ふらふら ひながな: ふらふら 用例: 徹夜した次の日は疲れてふらふら(揺れ動いて安定しないさま)だった。考えがふらふらと定まらない。	一概に ひながな: いちがいに 用例: 田舎は住みやすいと言うが、一概にそうとも言い切れない。	勘れる ひながな: こじれる 用例: 田中さんが参加したら、もっと話がこじれてしまった。
加味 ひながな: かみ 用例: 田中さんの意見も加味したうえで、計画書を作成した。	ちやほや ひながな: ちやほや 用例: 田中さんは一人っ子なので、ちやほや(相手の機嫌をとるようなさま)されて育った。	有り様 ひながな: ありさま 用例: 田中君は、彼女に振られてからというもの、食事ものを通らない有様(物事の状態。ありよう、身分。境遇)だ。	レンジ ひながな: レンジ 用例: 電子レンジで置かずを温める。	ちらっと ひながな: ちらっと 用例: 電車の中でちらっと(僅かに聞こえたり聞いたりするさま。瞬間的に見たり見えたりするさま。)見ただけなので、よく覚えていない。
問い合わせる ひながな: といあわせる 用例: 電話で商品について問い合わせる。	跨る ひながな: またがる 用例: 登山ルートは、富山県と長野県に跨っている。	濡れ ひながな: ぬれ 用例: 途中で川に落ちてしまい、子犬はさず濡れだ。	名残 ひながな: なごり 用例: 冬の名残の雪が、まだあちこちに見えた。	悉く ひながな: ことごとく 用例: 投資の失敗で、財産を悉く失ってしまった。
齎す ひながな: もたらす 用例: 投手力の充実が、このチームに優勝をもたらした。	当～ ひながな: とう 用例: 当社のキャッチフレーズは斬新(ざんしん)なものにしたい。	人目 ひながな: ひとめ 用例: 逃亡中の犯人は、昼間は人目につくので、夜行動した。	理屈 ひながな: りくつ 用例: 同じ仕事をしているのに、彼女の方が彼女より給料が高いのは理屈に合わない。	あべこべ ひながな: あべこべ 用例: 道を曲がる(まがる)のを間違えたらしく、あべこべ(位置・順序・方向などが通常の状態とは反対であること)の方向へ行ってしまった。
呟く ひながな: つぶやく 用例: 独り暮らしを始めてから、老人はしょっちゅう何かつぶやくようになった。	独自 ひながな: どくじ 用例: 独自の製品を開発しないと、会社の業績は上がらないだろう。	放り込む ひながな: ほうりこむ 用例: 突然お客さんが来たので、荷物を押し入れに放り込んだ。	押し寄せる ひながな: おしよせる 用例: 突然の夕立に、広場にいた人々が一斉に駅構内に押し寄せた。	突如 ひながな: とつじょ 用例: 突如彼は席を立ち、そのまま教室から出て行った。
交わす ひながな: かわす 用例: 二人は、1年後に結婚する約束を交わした。	密か ひながな: ひそか 用例: 二人は誰にも気付かれず、密かに愛し合っていた。	一気 ひながな: いっき 用例: 日頃から鍛えて(きたえて)いる彼は、120段の階段を一気に上がった。	多様 ひながな: たよう 用例: 日本でも、雇用形態は多様になってきた。	密接 ひながな: みっせつ 用例: 日本とアメリカは、経済的に密接な関係にある。
婉曲 ひながな: えんきよく 用例: 日本語の婉曲(えんきよく)な言い回しには、苦労する。	如何やら ひながな: どうやら 用例: 如何やら雨も上がったようだから、外に出掛けよう。	日向 ひながな: ひなた 用例: 猫が、日向で気持ちよさそうに眠っている。	引っかく ひながな: ひっかく 用例: 猫を無理に抱こう(だこう)したら、爪で腕を引っ掛かれた。	尚更 ひながな: なおさら 用例: 熱があるのなら尚更の事、旅行は中止した方がいい。
賑わう ひながな: にぎわう 用例: 年末の大売り出しで、デパートは賑わっていた。	固有 ひながな: こゆう 用例: 能は日本固有の伝統芸能だ。	麻痺 ひながな: まひ 用例: 脳の血管が詰まり、手足がまひして動かない。地震で交通機関が麻痺する。	物議 ひながな: ぶつぎ 用例: 脳死の判定基準が公表され、物議を醸して(かもして)いる。	破損 ひながな: はそん 用例: 破損したガラス窓から冷たい風が吹き込んできた。
元来 ひながな: がんらい 用例: 馬は元来優しい動物だ。	達成 ひながな: たっせい 用例: 売り上げの目標を達成する。	案じる ひながな: あんじる 用例: 畑(はたけ)を荒らす(あらす)野生の猿を捕まえ(つかまえ)ようと、一計を案じた。事の成り行きを案じる	潤う ひながな: うるおう 用例: 畑が雨で潤った。臨時収入で懐(ふところ)が潤った。	明瞭 ひながな: めいりょう 用例: 発音が不明瞭で、何を言っているのかよく聞き取れなかった。
				手掛かり

打ち切る ひながな: うちきる 用例: 発掘(はっくつ)調査は、昨日で打ち切られた。	拝啓 ひながな: はいけい 用例: 犯罪の背景には、少年時代の貧しい環境がある。	途絶える ひながな: とだえる 用例: 犯人の足取りはここで途絶えている。	報じる ひながな: ほうじる 用例: 犯人逮捕のニュースが報じられた(ほうじられた)。	ひながな: てがかり 用例: 犯人逮捕の手掛かり(問題を解決するための糸口(いとぐち))。手をかける所。よじ登るときにとりつく所)。一般市民からの情報によって得た。
所有 ひながな: しょゆう 用例: 彼がこの土地の所有者だ。	生き甲斐 ひながな: いきが い 用例: 彼から仕事を取上げたら(相手のもっているものを無理に奪う、申し出や意見を受け入れる。採用する)、生き甲斐がなくなってしまうだろう。	下心 ひながな: したごころ 用例: 彼が急に親切になったのは、下心があるからに違いない。	手掛ける ひながな: てがける 用例: 彼が手掛けた仕事のほとんどは、人々の高い評価を得ている。	免れる ひながな: まめがれる 用例: 彼だけホテルのフロントに貴重品を預けておいたので、盗難の被害を免れた。
依然 ひながな: いぜん 用例: 彼には遅刻しないよう、何度も注意したが、依然として改まらない(あらたまらない)。	貫禄 ひながな: かんろく 用例: 彼には部族の長としての貫禄がある。	漠然 ひながな: ばくぜん 用例: 彼のあいまいな態度に、彼女は漠然とした疑い(うたがひ)をもった。	あやふや ひながな: あやふや 用例: 彼のあやふや(物事がはっきりしないさま)な態度に、彼女は激怒した。	害する ひながな: がいする 用例: 彼の一言で、気分を害してしまった。
見晴らし ひながな: みはらし 用例: 彼の家は丘の上に建っているの、見晴らしがいい。	兼業 ひながな: けんぎょう 用例: 彼の家は農家といっても、お父さんが会社勤めをしている兼業農家だ。	容易い ひながな: たやすい 用例: 彼の技術があれば、1日で仕上げるのは容易い。	朽ちる ひながな: くちる 用例: 彼の業績は、永遠に朽ちることなく、語り継がれる(かたりつがれる)。	終始 ひながな: しゅうし 用例: 彼の言い分は終始一貫していた。
正当 ひながな: せいとう 用例: 彼の言い分は正当だ。	障る ひながな: さわる 用例: 彼の言うことは、いちいち気に障る。夜更かし(よふかし)は健康に障るぞ。	一変 ひながな: いっぺん 用例: 彼の言葉で、その場の雰囲気が一変した。	発作 ひながな: ほうさ 用例: 彼の自殺は、遺書もなく、発作的なものだったらしい。	高尚 ひながな: こうしょう 用例: 彼の趣味は、クラシック音楽の鑑賞と演奏で、実に高尚なものばかりだ。
日頃 ひながな: ひごろ 用例: 彼の成功は、日頃の努力が実(み)を結んだ(むすんだ)ものだ。	気質 ひながな: きしつ 用例: 彼は、おだやかな気質の人だ。	しょっちゅう ひながな: しょっちゅう 用例: 彼は、しょっちゅう(初中後、いつも)遅刻してくる。	大間 ひながな: おおま 用例: 彼は、何事にも、大間な人だ。	ぼやく ひながな: ぼやく 用例: 彼は、給料が安いと、いつもぼやいて「ぶつぶつ不平や泣き言を言う」いる。
担う ひながな: になう 用例: 彼は、次の時代を担う有能な人材だ。	後回し ひながな: あとまわし 用例: 彼は、自分のことを後回し(順番を変えてあとに遅らせること)にしても、他の人を助けるような人だ。	誇張 ひながな: こちょう 用例: 彼は、自分の手柄を誇張して言い過ぎる。	身の上 ひながな: みのうえ 用例: 彼は、少年時代に両親を失った不幸(ふこう)な身の上を語った(かたった)。	煽てる ひながな: おだてる 用例: 彼は、煽てるとすぐいうことを聞いてくれる。
束の間 ひながな: つかのま 用例: 彼は、束の間の休暇を思いっきり楽しんだ。	がっしり ひながな: がっしり 用例: 彼は、体ががっしり(物の構造や体格がしっかりしていて、力強く、また、簡単には壊れそうにないさま)している。	濯ぐ ひながな: すすぐ 用例: 彼は、努力して過去の汚名をすすいだ。丁寧にすすぎ洗いをする。	好意 ひながな: こうい 用例: 彼は、彼女にひそかに好意を抱いている。	両立 ひながな: りょうりつ 用例: 彼は、勉強とスポーツを立派に両立させている。
只管 ひながな: ひたすら 用例: 彼は、唯只管小説を書き続けた。	抓る ひながな: つねる 用例: 彼はあまりのうれしさに、夢ではないかと自分のほおをつねって見た。	所持 ひながな: しょじ 用例: 彼はいつもパスポートを所持している。	ルーズ ひながな: ルーズ 用例: 彼はお金にルーズ(締まりのないさま。だらしないさま)で、借りたお金をいつまでも返さない。	唱える ひながな: となえる 用例: 彼はこの説を唱えた最初の人だ。
しぶとい ひながな: しぶとい 用例: 彼はしぶとい(強情で臆するところがない。また、困難にあってもへこたれず粘り強い)打者なので、ここでヒットを打つかも知れない。	世辞 ひながな: せじ 用例: 彼はだれにでもお世辞を言う。	ちよくちよく ひながな: ちよくちよく 用例: 彼はちよくちよく(わずかの間を置いて同じことが繰り返されるさま)この店にくるので、近いうちに会えると思う。	成果 ひながな: せいか 用例: 彼は営業の仕事で成果を収めた。	画期 ひながな: かっき 用例: 彼は画期(かっき)的な発明をした。
出世 ひながな: しゅっせ 用例: 彼は確実に出世(社会的に高い身分・地位を得ること。仏語。)するだろう。	脅す ひながな: おどす 用例: 彼は議員に対し、汚職を暴露すると脅していた。	匹敵 ひながな: ひってき 用例: 彼は高校生だが、大人の選手に匹敵する实力を持っている。	年長 ひながな: ねんちょう 用例: 彼は私より3歳、年長だ。	手近 ひながな: てぢか 用例: 彼は自分の手近にあった灰皿を差し出した。
手際 ひながな: てぎわ 用例: 彼は手際(物事の処理の仕方。また、物事を処理する要領・腕前)よく魚を料理した。	遂げる ひながな: とげる 用例: 彼は獣医(じゅうい)になるという目的を遂げた。	個々 ひながな: ここ 用例: 彼は小柄だが、一流の選手だ。小柄な模様の服がよく似合う。	自在 ひながな: じざい 用例: 彼は新しい機械を自在に操る(あやつる)。	人情 ひながな: にんじょう 用例: 彼は人情が厚いので、困った時は頼り(たより)になる。
荒っぽい ひながな: あらっぽい 用例: 彼は粗(あら)っぽい(言動や性質などが荒々しい。乱暴である)性格に見えますが、実は優しい人なんです。	誤魔化す ひながな: ごまかす 用例: 彼は都合が悪いと笑ってごまかす。	野心 ひながな: やしん 用例: 彼は入社した時から、社長になるという野心を持っていた。	一筋 ひながな: ひとすじ 用例: 彼は忍耐一筋の苦勞人なので、失敗しても挫け(くじけ)ない。	咎める ひながな: とがめる 用例: 彼は理由もなく人を咎めることはしない。

徹する ひながな: てっする 用例: 彼らは、夜を徹して、翌日の会議の資料を準備した。	新任 ひながな: しんにん 用例: 彼を会長に信任する。	生れ付き ひながな: うまれつき 用例: 彼女がだれにでも優しいのは生まれつきの性格だ。	操る ひながな: あやつる 用例: 彼女が横領(おうりょう)した(他人または公共の物を不法に自分の物とすること横領罪)のは、陰でれかに操られたからに違いない。	冷酷 ひながな: れいこく 用例: 彼女が冷酷な態度をとったので、彼は自殺し兼ねなかった。
大柄 ひながな: おおがら 用例: 彼女には、大柄な模様の着物が似合う。大柄な体格の割りに、彼は小心者だ。	押し切る ひながな: おしきる 用例: 彼女に押し切られて(「切る」を強めていう語。断ち切る)、卒業旅行はイギリスに行くことになった。	賛美 ひながな: さんび 用例: 彼女の気高さ(けだかさ)を、皆が賛美した。	察する ひながな: さっする 用例: 彼女の気持ちを察して、彼は優しい言葉をかけた。	玄人 ひながな: ぐろうと 用例: 彼女の書道の腕前は玄人も驚く。
支持 ひながな: しじ 用例: 彼女の提案は、支持された。	大袈裟 ひながな: おおげさ 用例: 彼女の話は、いつも大袈裟だ。	滑稽 ひながな: こっけい 用例: 彼女は、はたから見ると滑稽なほど、髪の手入れに執着している。	費やす ひながな: ついやす 用例: 彼女は、一日のほとんども読書に費やす。	さぼる ひながな: さぼる 用例: 彼女は、会社をサポート(「動ラ五」 「サポタージュ」の略の「サポ」の動詞化)怠ける)バーゲンに行った。
すんなり ひながな: すんなり 用例: 彼女は、手足がすんなり(しなやかでほっそりしているさま)として背が高い。事件はすんなり(物事が滞ることなく、なめらかに進むさま)と解決した。	弄る ひながな: いじくる 用例: 彼女は、話しながら髪の手をいじる癖(くせ)がある。	仕付け ひながな: しつけ 用例: 彼女はしつけの厳しい家庭で育った(そだった)。	整える ひながな: ととのえる 用例: 彼女はデートの前に、服装をもう一度整えた。	てんで ひながな: てんで 用例: 彼女はてんで(まるっきり、まったく、非常に。とても)作法を知らないで困る。
レッスン ひながな: レッスン 用例: 彼女はプロの歌手を引退(いたい)してからも、毎日レッスンを欠かさない(かかさない)。	重宝 ひながな: ちょうぼう 用例: 彼女はよく気がつくので、皆から重宝されている。	下地 ひながな: したじ 用例: 彼女は下地(物事が成り立つ土台となるもの。基礎。素地。素養)ができていたので、上達が早かった。	気立て ひながな: きだて 用例: 彼女は気立て(他人に対する態度などに現れる、その人の心の持ち方。性質。気質)が優しいので、みんなに好かれている。	儉約 ひながな: けんやく 用例: 彼女は儉約家なので、貯金が増える一方だ。
恥らう ひながな: はじらう 用例: 彼女は恥じらって、呼ばれてもステージに上がらなかった。	陰気 ひながな: いんき 用例: 彼女は美人だが、陰気な性格だ。	人柄 ひながな: ひとがら 用例: 彼女は美人な上に、人柄もいいので、みんなに好かれて(すかれて)いる。	センス ひながな: せんす 用例: 彼女は洋服のセンスがよい。	追い込む ひながな: おいこむ 用例: 彼女を自殺に追い込んだ(広い所にいるものを、追い立ててある場所に入れる。最後の段階で、全力を出してがんばる)原因は、友達のいじめだそうだ。
冴える ひながな: さえる 用例: 疲れているのか、近頃顔色が冴えない。	放り出す ひながな: ほうりだす 用例: 疲れると、勉強を放り出してテレビを見る。	裂ける ひながな: さける 用例: 秘密にすると約束したので、口が裂けても言わない。	漏らす ひながな: もらす 用例: 秘密を漏らさないように注意する。	余地 ひながな: よち 用例: 避難所は住民たちでいっぱい、足をのばす余地もないほどだった。
乗っ取る ひながな: のっとる 用例: 飛行機が、武器を持った数人の男に乗っ取られた。	定義 ひながな: ていぎ 用例: 美しさの定義は、人それぞれ違うものです。	阻む ひながな: はばむ 用例: 氷の割れ目が阻み、冒険家は、それ以上進めなかった。	踏み込む ひながな: ふみこむ 用例: 表面だけの議論ではなく、もう一歩踏み込んだ意見がほしい。	碌に ひながな: ろくに 用例: 病気で、ろくに食べられなかったため、痩せてしまった。
最早 ひながな: もはや 用例: 病気は、もはや治療できないほど進行していた。	契機 ひながな: けいき 用例: 病気を契機にタバコをやめた。	介抱 ひながな: かいほう 用例: 病人を手厚(てあつく)介抱した。	不意 ひながな: ふい 用例: 不意に呼び止められて、びっくりした。	好況 ひながな: こうきょう 用例: 不況期が終わり、好況の兆しが見えてきた。
落ち込む ひながな: おちこむ 用例: 不景気だから、収入も落ち込んでいる。落選した野口候補は落ち込んでいる。	是正 ひながな: ぜせい 用例: 不公平な給与体系の是正をする。	げっそり ひながな: げっそり 用例: 不合格の知らせに、息子はげっそり(顔・からだなどが急にやせ衰えるさま)と痩せて(やせて)しまった。	養う ひながな: やしなう 用例: 夫の収入だけで家族4人を養っている。	霞む ひながな: かすみ 用例: 富士山の山頂は、霞んでいてよく見えない。
聳える ひながな: そびえる 用例: 富士山は他のどの山よりも高く聳えている。	志す ひながな: こころざす 用例: 普段からよく歩くよう心掛けてください。彼は画家を志して、学校を退学した。	摩る ひながな: さする 用例: 父のくせは、考え込む時に、額をさすることだ。	幾多 ひながな: いくた 用例: 父は、幾多の困難をのりこえて、会社を大きくしてきたそう。	控除 ひながな: こうしょう 用例: 父は、税金から祖母の分の扶養控除が受けられる。
執着 ひながな: しゅうちゃく 用例: 父はこの土地に執着しているので、引っ越すことはないだろう。	目つき ひながな: めつき 用例: 父は厳しい目つきで、悪戯をした息子を睨んだ(にらんだ)。	几帳面 ひながな: きちょうめん 用例: 父は几帳面な人なので、私の生活態度にはやかましかった。	箒もる ひながな: こもる 用例: 部屋中にタバコの煙が箒(ほう)つてしまい、気分が悪い。	乱す ひながな: みだす 用例: 風が吹いてきて、私の髪を乱した。
揺らぐ ひながな: ゆらぐ 用例: 風で木の葉が揺らいでいる。	長閑 ひながな: のどか 用例: 風もない長閑(空が晴れて、天候が穏やかなさま)な春の1日を、恋人と過ごした。	みすぼらしい ひながな: みすぼらしい 用例: 服装はみすぼらしい(外見が貧弱である)が、彼は有名な学者だ。	努めて ひながな: つとめて 用例: 複雑な話を、努めて簡単に伝えようとした。	円満 ひながな: えんまん 用例: 紛争が円満に解決することを祈っている。

平たい ひながな: ひらたい 用例: 平たい皿に料理を美しく盛り付ける。	値引き ひながな: ねびき 用例: 閉店近くなると、食品は一斉に値引きされて安くなる。	剥げる ひながな: はげる 用例: 壁のペンキが剥けたので塗り(めり)直した。	告げる ひながな: つげる 用例: 別れを告げる場面は、涙を誘われる。	取り合えず ひながな: とりあえず 用例: 母が入院したとの知らせに、とるものもとりあえず病院に駆けつけた。
嘆く ひながな: なげく 用例: 母は、息子が勉強しないで遊んでばかりいると嘆いた。	一心 ひながな: いっしん 用例: 母は、息子の無事を一心に祈った(いのった)。	愚痴 ひながな: ぐち 用例: 母は父のことで、いつも愚痴を溢して(こぼして)いた。	手数 ひながな: てすう 用例: 忙しいので、あまり手数がかる料理は作れなかった。	ゆとり ひながな: ゆとり 用例: 忙しい現代人には、ゆとり(物事に余裕があり窮屈でないこと。余裕)が欠けている。
果て ひながな: はて 用例: 冒険を求めて(もともと)世界の果てまで旅行した。	本音 ひながな: ほんね 用例: 本音を聞き出そうとしたが、彼はなかなか明かそうとしなかった。	ジャンル ひながな: じやんる 用例: 本棚の本をジャンル別に整理してください。	いっそ ひながな: いっそ 用例: 毎月、こんなに高い家賃を払うのなら、いっそ(予想に反した事を述べるときに用いる。かえて、一層のこと)マンションでも買おうか。	お手上げ ひながな: おてあげ 用例: 毎日、雨続きでは、道路工事の仕事はお手上げだ(両手を上げて降参する意から、解決する手段が全くないこと。どうにもしようがないこと)。
密集 ひながな: みっしゅう 用例: 密集した住宅地のため、火はまたたく間に広がった。	発生 ひながな: はっせい 用例: 霧が発生したので、高速道路で事故が多発した。	ぼやける ひながな: ぼやける 用例: 霧のため、景色がぼやけて(はっきりとしなくなる。ぼんやりとする。ぼける)よく見えない。	ドライ ひながな: だらひ 用例: 娘はドライ(素っ気無いこと。感傷・人情などに動かされないで、合理的に割り切ること)な性格だと思われているが、本当はあれで涙もろい。	仕掛ける ひながな: しかける 用例: 明日の朝、早起きするため、目覚まし時計を仕掛けた。悪戯(いたずら)を仕掛ける。
揉める ひながな: もめる 用例: 儲けた(もうけた)お金の配分をめぐる、仲間同士で揉めた(もめた)。	凝らす ひながな: こらす 用例: 目を凝らしてのぞいてみると、水面下にきれいな魚が見える。	ふしん ひながな: ふしん 用例: 夜遅く一人でぶらついていたら、不審に思われて、警察に通報された。心配事があって、食欲不振になった。	ルール ひながな: ルール 用例: 野球の試合を見に行ったが、ルールが分からなかった。	事に依ると ひながな: ことによると 用例: 約束はしたが、ことによると彼女はこないかもしれない。
凌ぐ ひながな: しのぐ 用例: 輸出の増加は、円安当時に凌ぐ(しのぐ)勢い(いきおい)だ。	折り返す ひながな: おりかえす 用例: 友人から手紙が届いたので、折り返し返事を書く。急用で、途中から折り返す。	夜更かし ひながな: よふかし 用例: 友達とお酒を飲んで夜更かししてしまい、朝起きられなかった。	有りの儘 ひながな: ありのまま 用例: 有りのままの私を認めて(みとめて)くれる人と結婚したいと思っている。	呆気ない ひながな: あっけない 用例: 有名大学の試験だから、難しいと思ったが、あっけない(思ったより内容が貧弱または単純で、おもしろみがない。期待外れでもの足りない)ほどやさしかった。
膨れる ひながな: ふくれる 用例: 夕食後、お腹が脹れたので、眠くになった。あの子は、叱られる(しかられる)と脹れた好ましくない)。	快い ひながな: こころよい 用例: 夕方、友人の風が頬に快い。彼は私のお願いを快く引き受けてくれた。	予ねて ひながな: かねて 用例: 予ねてから希望していた弁護士になることができた。	予め ひながな: あらかじめ 用例: 予め必要なものをメモして行くと、無駄な買物をしない。	若干 ひながな: じゃっかん 用例: 予算が若干余った(あまった)ので、新しいテレビを買った。
使命 ひながな: しめい 用例: 与えられた使命を実行する。	口ずさむ ひながな: くちずさむ 用例: 幼い(おさない)頃、一緒に歌った歌を皆で口ずさん(くちずさん)だ。	振り出し ひながな: ふりだし 用例: 容疑者が犯人ではなかったことが判明し、捜査は振り出しに戻った。	箇条書き ひながな: かじょうがき 用例: 要点を箇条書きにした。	遥か ひながな: はるか 用例: 遥か彼方の水平線から朝日が昇って(のぼって)きた。
来る ひながな: きたる 用例: 来たる10月10日に運動会を行う予定です。	踏まえる ひながな: ふまえる 用例: 理想もよいが、常に現実を踏まえて計画を立てるべきだ。	身形 ひながな: みなり 用例: 立派な身なりをしていたので、お金持だと思った。	じっくり ひながな: じっくり 用例: 旅行の計画を友人とじっくり相談する。	紛失 ひながな: ふんしつ 用例: 旅行中パスポートを紛失し、予約した飛行機に乗れなかった。
介入 ひながな: かいにゆう 用例: 両国の民間レベルの交流に、政治はできるだけ介入させたくない。	生臭い ひながな: なまぐさい 用例: 料理した後、魚の生臭いにおいが消えない。	器 ひながな: うつわ 用例: 料理を器に盛る。彼は全員をまとめるリーダーの器ではない。	仕上がり ひながな: しあがり 用例: 料理長は、すべての料理の仕上がりをチェックする。	吟味 ひながな: ぎんみ 用例: 良い料理は、材料を吟味することから始まる。
無難 ひながな: ぶなん 用例: 良く知らない人に対しては、丁寧に接する方が無難(危険のないこと。また、間違いないこと。無事)だ。	間柄 ひながな: あいだがら 用例: 林先生と山田さんは、師弟の間柄だそうです。	軒並み ひながな: のきなみ 用例: 隣近所が、軒並み泥棒の被害にあった。	さっと ひながな: さっと 用例: 冷たい風がさっと(颯と、動作がすばやく行われるさま。物事が急に变化するさま)吹き抜ける。メモにさっと目を通す。	辿る ひながな: たどる 用例: 歴史を辿って(道筋に沿ってめざす方向へ進む)、言葉の意味の変化を知る。
軽率 ひながな: けいそつ 用例: 列車事故の原因は、運転手の軽率な判断にあった。	投げ出す ひながな: なげだす 用例: 練習が辛くて、途中で投げ出してしまった。	案の定 ひながな: あんのじょう 用例: 連休中の新幹線は、案の定、込んでいた。	途切れる ひながな: とぎれる 用例: 話がとぎれて気まずい沈黙の時間が流れた。	ややこしい ひながな: ややこしい 用例: 話すとややこしい(複雑である。こみいってわずらわしい)ので、図に書いて説明します。